

介護スタッフ実践力向上研修（上級）研修の開催

平成26年5月27日～28日、経験3年以上の介護職員を対象とした研修を実施しました。

年間で2回の実施を予定しているため、今回は8名と少なめの参加でしたが、グループワークを数多く取り入れ、ディスカッションにより理解を深めました。1日目の夜には交流会も行い、ネットワーク構築の場として活用いただきました。

【プログラム】



研修のねらい

介護職員の中心となり活躍されている方、またはその方と一緒に現場を牽引する立場にある方を対象とした研修内容です。新人の指導はもちろん、事業所全体の人材育成も視野に入れた活躍が期待されます。また、所属するチームのまとまりや業務改善にも積極的に介入し、質の高いサービスを提供できるよう働きかけることができるよう具体的な方法について考えます。

1日目	研修内容
リーダーシップとチームマネジメント	チームアプローチの考え方や理論について理解し、自分が所属するチームのまとめ方について考えるため、エゴグラムの演習を行い、自分のタイプを理解し、それを踏まえたチームマネジメントについて学んだ。
介護事故における法的責任と介護記録の関連性 【リスクマネジメント】	介護事故が訴訟に発展するケースは少なくありません。裁判においては、記録にないことは実施していないことと同じであるため、記録の重要性と事故発生時の責任について確認をした。
今までの暮らしを続けてもらえるような暮らしをつくる (上級編)	高齢者が施設にて日常生活を営むことを支援するためのポイントを学び、また、自施設においてのケアを通して入居者の1日の生活の流れを演習やグループワークを通してユニットケアの中でどうあるべきかを検討した。
2日目	研修内容
人材育成 ～日常業務の中のOJTの機会と方法～	日常業務のあらゆる場면을OJTの機会として捉えることができ、多様な機会を活用できているか、改めて確認をし、それぞれの場面に応じた指導の方法について学んだ。
課題解決と業務改善	利用者へのより良いサービス提供のため、普段より問題意識を持ち、問題を「課題」にして、チームで解決に導くための具体的な手法について学んだ。

